

「構成」が大切！ その1

構成 1

- 1 最初の場面を書きましょう。(本の引用)
- 2 その場面と似た話(関連すること)を書きましょう。
- 3 簡単な感想を書きましょう。(本の引用)
- 4 真ん中の場面を書きましょう。(本の引用)
- 5 その場面と似た話(関連すること)を書きましょう。
- 6 簡単な感想を書きましょう。(本の引用)
- 7 最後の場面を書きましょう。(本の引用)
- 8 その場面と似た話(関連すること)を書きましょう。
- 9 本全体の締めくくりとして「分かったこと」「考えたこと」を書きましょう。

構成 2

- 1 まず、その本を選んだ理由や、出会ったきっかけを書きましょう。
- 2 次に、物の名前や登場人物を紹介しましょう。
- 3 その中で、一番心に残ったことを書きましょう。
- 4 自分だったらどう行動するかを書きましょう。
- 5 その本を読んで、自分は何を学んだか、さらに、これからどのように生活していけば良いかを考えてまとめましょう。

構成 3

- 1 最も印象的な場面の引用など、効果的な書き出しを考えて書きましょう。
- 2 まず、疑問に思ったこと(気付いたこと)を書きましょう。
- 3 なぜ疑問に思ったのか(なぜその点に注目したのか)を書きましょう。
- 4 その疑問(気付いたこと)に対する自分の答えを書きましょう。
- 5 なぜそのように考えたかを書きましょう。
- 6 主人公の考えや行動に対する考えを書きましょう。
- 7 結びを考えて、一番に言いたいことを書きましょう。

構成 3

- 3 ② 説明的な文章を読んだ場合
- (G) 最も印象的なことばの引用など、効果的な書き出しを考えて書きましょう。
 - (A) まず、気づいたこと(驚きや発見) 疑問に思ったこと(自分のとらえ方と違う点) を書きましょう。
 - (B) なぜ驚いたのか、なぜ疑問に思ったのか(自分のとらえ方とどう違うか) を書きましょう。
 - (C) その疑問に対する自分なりの答えや、筆者がそのようにとらえたのはなぜか、を書きましょう。
 - (D) なぜそのように考えたかを書きましょう。
 - (E) 驚きや発見を日常、生活や他の分野に広げて考えてみよう。
 - (F) 結びを考えて、一番に言いたいことを書きましょう。

「構成」が大切！ その2

構成 1

- 1 ある日、よ平は、わなにかかった鶴を助けてあげた。
 - 2 鶴について調べてみると、日本には七種鶴の鶴がいることがわかった。冬になるとシベリアから渡ってきて、日本を冬を越す鶴もいるそうだ。
 - 3 この鶴はシベリアから日本にきて、慣れない日本に、わなにかかっていたのではないかと考えた。
 - 4 鶴は美しいが、むすめは姿を変えて、よ平の女房となり、よ平のために美しい姿になった。
 - 5 鳥の羽を使った製品を調べてみると、羽ペン、羽かざり、羽布団、赤い羽根などがあつたが、さすがにはた織りはない。
 - 6 羽根を使ったのはた織りというのだから、高次元な技術が必要とされるのだろう。
 - 7 よ平は、よ平はよくそくをやぶって、はた織りの様子を見て、すつとむすめは鶴になって飛んでいってしまった。
 - 8 鶴をペットとして売っているところはないので、ついでに鶴と布のどちらにも高い価値があるかわからなかった。
 - 9 現存する人であれば、鶴の作った布をうまく製品にしたかもしれない。
- よ平も鶴と協力して、はた織りの仕事を発展させていけばよかったのではないかと考えた。
- 見たくて仕方がないという「好奇心」は発展の原動力なのだと思う。

構成 2

- 1 「鶴の恩返し」は、子ども向けの絵本で知っている。何日か前、アニメを見て感動したので、ちゃんとしたお話になっている『つるのようぼう』という本を本屋さんで探して読んでみた。
- 2 ある日、よ平が、わなにかかっていた鶴を助けた。その夜、美しいむすめがよ平のうちにやってきて、「女房にしてくださいませ」とたのみ、ふたりはいつしよに暮らす。むすめは貧しい暮らしをなんとかしようとして、「決してのぞき見させませんよ」と頼んで、美しいはた織りをつむぎ出した。むすめはつむぎ出したはた織りを使った布地はいい布で売れた。その後、これっきりという約束で、東だったのに、もう一度だけはた織りさせた。その後も、商人にそのかざされて欲を出したよ平は、むすめにさらにもう一度はた織りさせた。決してのぞかずに、このよくそくをやぶって、はた織りの様子を見て、すつとむすめは鶴になって飛んでいってしまった。
- 3 その中で、一番心に残ったのは、見たくて仕方がない気持ちは、よくそくをやぶって、はた織りをつむぎ出した。自分だったら、絶対に残すことはあつたりしないと思う。
- 4 私は、この本から「よくそくを守る大切さ」を学んだ。これからは、友人や両親との間のよくそくを大切にして、信頼しあえる関係を作っていききたい。

構成 3

- 3 によつてできる読書感想文の例
- (G) 「けしてのぞかないで」というむすめのおねがいを守らずに、ふすまをあけたとき、よ平の目の前に、自分の羽根を引き抜きたがらばた織りをする鶴のすがたがあつた。
 - (A) なぜよ平は「のぞかないで」というむすめのおねがいを無視してしまつたのだろうか。
 - (B) それまでよ平は、むすめのことばにしがたがっておとなしく待っていたはずだ。
 - (C) おそらくよ平は、むすめのおねがいなど、どうでも良いと思うようになってしまつたのだろう。
 - (D) なぜそのように考えたかというところ、これっきりにしてくださいませ」というおねがいも、「のぞかないで」と言うおねがいと同じように、無視して、はた織りをするようになったのだろうか。
 - (A) 2 私は、よ平はむすめのことばにしがたがっておねがいを無視するようになったのだろうか。
 - (B) 2 では、よ平がだんだん冷たい人間になっていくように感じた。
 - (C) 2 おそらくよ平は、お金の力が気になつたから、やつれていくむすめへの体や気持ちに注意が向かなくなつてしまつたのだろう。
 - (E) 相手を大切にすることが、その人の体や気持ちやことは大切にするということだと思つた。
 - (F) 「その人が自分に何をしてくれるか」ということで他人の価値を測つてはならない。私の両親や友人との関係もそのように考えて深めていこうと思う。
- やさしかったよ平が冷たい人間になつていったこの物語は、そうした冷たさが誰の心にもあるのだということを語っているのではない。

構成 3

- 3 によつてできる読書感想文の例
- (G) 「けしてのぞかないで」というむすめのおねがいを無視してしまつたのだろうか。
 - (A) なぜよ平は「のぞかないで」というむすめのおねがいを無視してしまつたのだろうか。
 - (B) それまでよ平は、むすめのことばにしがたがっておとなしく待っていたはずだ。
 - (C) おそらくよ平は、むすめのおねがいなど、どうでも良いと思うようになってしまつたのだろう。
 - (D) なぜそのように考えたかというところ、これっきりにしてくださいませ」というおねがいも、「のぞかないで」と言うおねがいと同じように、無視して、はた織りをするようになったのだろうか。
 - (A) 2 私は、よ平はむすめのことばにしがたがっておねがいを無視するようになったのだろうか。
 - (B) 2 では、よ平がだんだん冷たい人間になっていくように感じた。
 - (C) 2 おそらくよ平は、お金の力が気になつたから、やつれていくむすめへの体や気持ちに注意が向かなくなつてしまつたのだろう。
 - (E) 相手を大切にすることが、その人の体や気持ちやことは大切にするということだと思つた。
 - (F) 「その人が自分に何をしてくれるか」ということで他人の価値を測つてはならない。私の両親や友人との関係もそのように考えて深めていこうと思う。
- やさしかったよ平が冷たい人間になつていったこの物語は、そうした冷たさが誰の心にもあるのだということを語っているのではない。